



インゲン

ケンタッキーブルー

ケンタッキーワンダーより低節位から収穫可能 濃緑莢 ほとんど曲がりのない つるありニュータイプ

品種の特長

- 低節位から着莢・収穫ができ、特に早期収量が多い つるありの早生品種。主枝を中心に長期間収穫できる。
- 草勢はケンタッキーワンダーに比べかなりおとなしい。葉は小葉。葉色濃く、節間は短い。草丈は1.8~2m程度。過繁茂になりにくいので摘葉の必要がなく省力栽培に適する。
- 莢は濃緑の丸莢すじなし。莢の長さは15~16cm。曲がりはほとんどなく。見栄えが優れている。

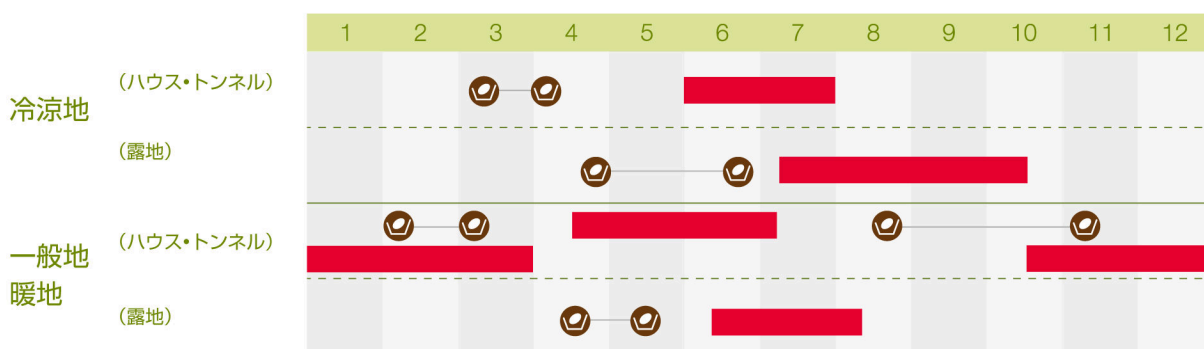
- 収穫が遅れても莢が硬くなりにくく、収穫適期幅が広い。
- 食味に風味があり、やわらかく、おいしい。

要点・注意

- 栽培密度は従来のケンタッキーワンダーより密植とし、平均うね間2.5~2.8mの2条植え。株間30~35cmの2本仕立てとして十分な株数を確保する。(ケンタッキーワンダーの2倍の栽植密度)
- 着莢数が多いので早めに追肥を行い、生育後半に至るまで乾燥せぬよう十分なかん水で樹勢を維持する。

作型

🕒 播種 ■ 収穫
* 作型は代表的なものです。目安としてご利用下さい。



syngenta®

シンジェンタ ジャパン株式会社

本社

〒104-6021
東京都中央区晴海1-8-10 オフィスタワーX 21階

www.syngenta.co.jp

成田シードセンター

〒289-2304
千葉県香取郡多古町高津原 401-2
TEL:0479-75-3111 FAX:0479-75-3122

®はシンジェンタ社の登録商標 TMはシンジェンタ社の商標 2013年7月作成(CR/HK)

TM